·田、三木厢部隊、榊原、湖田兩

[上極二六]

拿、野中、小倉 比島各

時過ぎ廣徳市様に火災起り目下炎

悲痛など 持で

ヴ國防相の有力幕僚

(上海二十六日同盟至急報)陸軍飛行除大沼大尉機は、廿六日午前九時卅分長興城頭に日章旗の飜へるを確認した

世ピオロシロフ元帥の有力保険

エート政府が中五日キエフ都湾 【ニューヨーク廿五日同盟】ニエ人であると云はれる、而してソ

蘇聯製の戰鬪機

れば同無特派具は廿四日四憂の日

ソヴェート概と思はれるが、操襟 ら見て、同機は最近に輸入された ロシア語が 肥されてゐる ことか のことである、菱動機及操縦端に

士の國籍については支那軍當局で

職開機を親しく機分した、同機は **抜かれて不時着したソヴェー**

は日を観して語らないが、同機が【東京文北特質】我が関に一方むは宋だ確立しての

3たい拠点が | 局で穏々研究打合セ中であつたが | も中等選校と同様に取扱り、騒で 合方面から 願る 期待さる

定、先づ明年度よりその第一段階一処けないこと、繋成費は一人富りこのほと漸くその具盤業大夥を決一て空茶後一般の職業に就様するを

全世界に 三り

刻々と動

として全國に中等學校程度の航空 | 五ヶ年間一萬五千回乃至二英頃と

し空業生は年約三千名とする、

を新設、中等程度のものには夫 成者は純然たる強備を筆であって

の課野を得てゐる模様である、しての無致一千萬周は既に大蔵當局

五ヶ年計覧の下に毎年三千名の民 期的計畫で、近い特殊には一縣一 間少年航空士を変成せんとする副

と等々であつて、結局明年度より

飛行場を財殺すること、なり、

して操縦・機闘を二分せしめぬ

日午前九時神片解機のドイツ汽船 急富士で赴任の途につき、二十七 **億氏は二十六日午前九時東京繁穀** 【推漑電話】新任點獨大使東總茂

して古墨校は修業年限を五ケ年

廣徳を反復爆撃

長興を占領、城頭高く日章旗を掲げ、将兵は江南の大氣を震撼して高らかに萬歳を 「岡本各部隊は砲兵隊の砲撃:相俟つて壯烈な拂曉の攻撃に移り、二十六日黎明遂

【吳興二十六日同盟至急報】吳山の山麓より敵が據點ご恃む長興に殺到した長野、

との話で、右操縦上も恐らくソヴ さると奥地の支那軍は外國人は總

市民大會を開催、なほこの大會に

战球すると同時に、総道を濃蹴し、総道の裏地平温線に現はれこれを

て我が整州及び常興の攻撃に大な一後一部を英龍江の水流に得ぶジャ

安は完全に保たれ避難民が心配し

り既にその三分の一は家に闘り治

民は避難先きから組々自宅に歸

大名市民感謝

河喜多部隊

こをつた「歌遊も日本軍に使って保 | 前金山を去る北方八キロの南原戦 | 著しく増し、後方との連絡が全く

岡本部総及び河湾多部総介入日午 | 進路は泥漑と化しクリークの水は | 雨路によつて河湾多部総は西へ西| 【上海中六日同盟】杭州徹上陸の | る艦城を梯てたが、近続の袋南で | ノク二整4小船三蛇に流線・水陸

へと向つて十1日午後学時半には

攻撃の道を開いたのであった を占據、更に十九日には大正題の] 命襲威によって南苺鐵を攻略太湖

い進撃記録

中等。專門校程度

航空學校を新設

|吳興二十六日同盟至急報|| 太湖西南岸の要衝長興は今二十六日拂曉陷落した

湖西南岸の要衝たる

一十五日午後一時正太鄉平定東

を低車を運んでゐるのは例の逃

滞を見舞つて徹底的打撃を奥 ひ大液場飛行場。軍事機関に の敵を爆撃

一間本、山田の諸部隊は今早期か

時々これに破撃を加へてゐるな

の積低と共にまた人へ南京を開時には渡洋桐飯機が〇〇航空線

ど報雲はいより、渡くなって来

浙江戰線 太湖南岸湖州(

ると河岸にトーチカ線の味地

界茂観上の軍雷輸送の心臓部に

動動を興へたが、廿五日午後三

あるが我が個陣は

題だる一つ時代

禹歳の聲江南

の大氣を意感

荒井のお乳 電点記山七三一 一番低速亡を解へられてゐたが、二 十五日上海より基内に船で香港に して層た上海市長命調的ほどでに 【上海二十五日同盟】支那個スポ

兪鴻鈞香港に逃亡

找軍避難民保護

ークスマンとして反日金郎に紐密 | 香井に造立した、なは同時には途 ねて上海に踏み止まっていた河民

近は寒さのため屋内で火をたき火 居るが市内ギる所多敷の避漏民が 憲兵消除と協力して整備に任じて 災を生する危險があるので、我が 物もなく機構に脅えてをり最

置して南京防照の死守線 良いされ(上海軍後表)また 時期能録に入り光録は早

山東戦線 黄河鮨橋を爆破

政府が交通部を移して削しない 既が初めて長沙を襲び機関ル、ている、廿四日は渡洋部隊の特 軍事施設に大規範を加へて國民 全支の空を連日に亘つて制版 空爆戦線 全や我がた

操行してニナ六日赴

武ガス工場を爆破、更に南支に 地石龍を爆撃火で界漢線上に現 こた間海椒液脈飛行場を襲つて 場を爆撃して敵の六機を爆破、

ごた東郷新駐河大便

防洪協定の大功労者だ の獨逸通であると共 ぶりなく待 では現太隆 が散型で強 たから角体

ち機へてる

様に東郷氏「敵郷へで

るから一つ悪を振いて繋しいま、伯林は聞きで知 るかで、「母真は東郷

上到る所日章族を飜しつい を以て解州はおろか古 都南京自指して我が絶 いて最後の大倉職を建 今や江南各地におけ 冷える手足

病はの在所

帯下・逆上・腰痛み

-四日朝には蔵三百を殲滅、百二

かくして破竹の勢をもつて進

軍の翻訳はやがて常州の天地に響 は早くも動揺の色濃く皇に恐れをなし、更に北方 追観上における酸は息 敵を西方に爬迫中、こ 郷の除は廿五日無弱を

|永年の悩みから氣も晴ればれと

街張 雅 田 定

樂に浸み届く新研究婦人劑

常州の敵

であらう

合津の出る極に振く、根熱は頼かず斯うした脳みが、赤く頼く張い下り物がして手足は冷え、腰は極い自然時には必ず下臓が、状様は前等が扩致しました。姿は求い間白色のツブ (くした

して思りました鬼、ふと知つたワセトン郡を使ひましてからはのでしたが、恥かしい病気故に打明けかわ。毎日暗い私分でな

市民大舎を刑能、たほこの大舎に「総道の異地手退衛に現ばれこれを「荷弥多部隊の難しい「漁職の記録」て廃水上警長隊員「千名が朝居す」に照謝し、「十五日四本年殿組の「親に田で、十四日総然として蘇敦」様するに至つて瀬く護祖墨籍成り「を庇護。ここより錦を西北に練しに歌出し、「十五日四本年殿組の「親に田で、十四日総然として蘇敦」様するに至つて瀬く護祖墨籍成り「を庇護。ここより錦を西北に練じたの大僧・一

日午前九時館の背後に上陸、強能

して逃げ盛る敵兵四百を芋刺り

表彰規定を決

次定 者

と頼む解系織道の水陸連路温暖。當の効果を収めつくあるが、社会。時間の進展に伴ひ結々その転身的 | 数化功能者の表態は未だ之れを行 | 努力を要す 本府は従来地方公共騒闘の境報者 民精神機動員運動線上に於ける役 割は極めて重大たる地位を占め、 係方面に從事する者で 局では『社会数化功能 るものあるに語る。今 川に於て に職善な者に對して明 を決定、社會教化事 。大流を残らら内服要され痛える。 にじグアリカン 重戦も使るのです。 来ののが婦人病の特長ですから、一般易な精等が無害質の女性の気分 と思ってある間に、マンルへ病能 最近はないので、今後だけの備み、よる質疑説が極えて野してのまで **が下級観みだけとか以一一項の類 ばこての場果で、掲者も挟然並らげればだりませ、ロマリ物だけと、第七た現実治療が描述に届いたれ** か描がって、全年の苦悩となって、治療上の快よさと云い襲撃くなっ

は婦人病の無態的な経験と事し上。セニン様の娘な、複雑な要作用

私くなく漱れ出ない

以上拜見して、朱鵬乍ら湘田様。一時止めた常人の悪ではなく、

御職由上けますの

日城しい日を送つて居ります。本常にフェトノボの華紀と原く治り、それに血色がよくなりました。基分も幅われくそして展 題の振みも酷い下り物もなく、月霊時の下頭領なの心配もなく

「成功した、しかしながら追撃の

三日午後十時には平鼠領北方七 敵を難感して達に敵が軍事大助

万十三名を採田して 日紀元節の住師を下

> 冷えれば緩にめる それでは治らぬ 本末を誤らぬ手當

に平舟へ衝撃せしめる

候補者三名以内を十二月ことでかり、各道知事は

輕能 率化 ターリン指令 「十五日同盟」 こと語

氮迁

醫學 傳出 木 村

かり面れぬが、熱の原因冷えの原因に直標手渡を加へなければ、熱があれば冷せす。冷えれば緩める、或る網一時的にはよい

病院 姉 人 科 使 用 ヴィタミンの新療法 **川の他の種々の各価も止まらぬ。原因を治せば子供も出来よう。原則に市際原因的の治療を止なければ常下も能みも偉えも、宮地県に市際原因的の治療をしなければ常下も能みも偉えも、さいかね、冷えも活われる。婦人病は子宮地県の病私たから子** 上にも親の研究を異人た進步した婦人物として複める。「一人」、女性らい、美しさも毎はあってモアン森は使用上にも効果

は、スターリン書記長はコー玄場の二十五日の報

ベリア 機道温機能率化

1、有天體 12

みの季節に内服要とよび買い所で、左右しく生むゲードミンADの畑 手足種が含え、下り松下版の職。上さ、段階を帰め然も壊れた特別

上重が切った治療の出来ると云つ。まで食み込むので ても手術ではなく至って安全で献 然も定てある間にずつと連点で治 人知わず 手早く 目望ましい第一級婦人旅でする 經確なり二日に一回で充分とか 重症で一日一回

計算等。

ル奥奇儀と57~お記佛、イ

女性ホルモン定入れて

やうにぐるし、壁る の頃の蘇聯の極東政策 人何と思るで 子さい、経費は難力で

上乏和國民工明答

明各

重要なでも 松井

場な方法で

土地が存する限り他へまで

痛な面特で最近の心境を披き

■対のでは、日夕刺南京におい て外膜通信記者側 事務簡捷を圖る

【上四二十五日间

心境を語る

暗恩の機構内のソヴェートの提

のもらるが、支那空軍の新たなのもらるが、支那空軍の新たないで船から降ろされたも

十名の(外人部隊) 一十名の(外人部隊) 一

紐育タイムスの報道

ソグ(八四〇トソ)は値度機大

地支黄

アラスカへ

南總書は熊改一新について潜任以來治々と効果、就いて協議を重ね、事務節捷を聞ることとなつ 本府事務取扱規程を改 て微来總者、總監の決裁を仰いでゐたものよう た、この結果により本府事務取扱规程を改正し

をあげて來たが、今度は更に綜合的に大政喜を

在住朝鮮人の温制存住

日衣の勇士凱旋

看々と質を結ぶ

血と汗の結晶、二百五十萬圓で

島官民の赤誠

里宁の羅家莊部落、短い秋の器の難行事の途、檢決を去る約一條 森本部隊S中尉

の 追ひつ、進むらち、斥候兵から騒い 一番面白かつたのは松高村の山で

平曹、有澤軍曹四勇士この搭撃で降の荒驾中島部隊の野中少佐、藤

勇士遂に戦死

泉城高等法院に上告中のところ

火柴自動車

は一暦早く且つ確かです みにくくなくその上効め みになったの正効め

関数第二七枚順玉(こ)は一一館 寛言した、二度なでも 死球を

貧害せられた関 将兩人が急題時 撤理を來る十二月二日開始する<u>]</u> 気の静認あるとを駆はしむべき駆っ考察するに原判決には重大なる事

婦人の頭痛

各菜店にあり四十銭・一届

商業登記公告

目まひ、月經痛に

か弱い婦人の體質に少しも高ら ね、新らしい頭痛のお薬です

鍵

同地監の那番に據る酸銀のため藤原中別先づ食傷、又一躍にタン

大部隊の

みを包圍殲滅 四日分の食糧で十日間戦る

と状涯の仕渡にからつた、時は一く右往左往、その間にバタくくと

遊がなく、ポンヤリ

から食糧には職分振みました。何 S 中尉 先標申したでうに



一審ごも死刑の殘虚事件

名譽の戦死者

森本部隊十月廿七日上等兵

耳鳴る

被の領現が悪くなるから 国して限が遅る。 国の血行が悪いと直波 血管が機樹し、その音が 血管が機樹し、その音が いて耳鳴りが起る。 いて耳鳴りが起る。 いて耳鳴りが起る。 いで耳鳴りが起る。

脚子を開発します 助手権関連総定するい、費用の は著一神に依る新生は他教々の は著一神に依る新生は他教々の

熱血譜

丁月



向等法院で事實審理

シン「イマツ」を完成した。

事足のシビレは勿続 事足のシビレは勿続

島買物

込、血液準化院法医る大阪市大仁の今津化學

頭痛に

になる前兆です。

「高川照」に探って

るから気分が軽くなり

禺引稼ぎに

高引に来た半島人が京城 B署では犯人捜査に努むる 半北生れの前科者

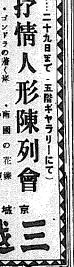




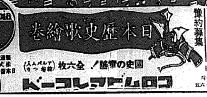




















文部省製作 近衛文 鷹間下 近衛文 鷹間下 近衛文 鷹間下

「お願はりましと注目の名爵、名称も本書壇の大家、松林柱月先生の 柳柳

懰

换

1の以、準備も出来まじたのでいよ

| 國民の恩悟

報. 夜線. 地

京龍鐵原**支廳**

くあいつくひみ下さいますやう、ひながち私へも下じ脚はりまじて、末月本店騎代りちの梁い御愛願を、不

替美松 拼

麗話本局②二五六四番 優井町一ノー三六(内鑑跡)

用掛宛送付し來つたので回御用掛 は直ちに舩納の手積を執った、尚一部で九機に達した 海軍へ戦納された愛園飛行機は

大國民運動を起す

の場合は岡日午前八時十分ラヂ

近々民の熱調をこめた要属機

海軍の分) 戦物変の

、 負傷者は三千四十四 火災による死亡者は四 一

愛國黃海號

火災の推済具積額は住宅だけでも「ので角開能官職、関民精神湯具員【東京電話】昭和十一年中の全国「名と云ふ蘭くべき数に上ってゐる

五千三百九十一萬一千餘圓の瓦頓一中央聯盟子の他諸官衙、公私團體

等協力の下に来る十二月一日「全

久太郎儀 豫而病氣恐養中ノ 處養 不相叶本日 午前三時五十五分 自宅 -不起去仕り候條比段間通知中上候 羅條二十八里子宮 - 時回時愈計1期陰1億5 羅條 - 非漢甲甲甲基 大

六十二萬三千四百二十六四六十一

「推官吏は率先してこれを廃し」」と迅悪を發した

金庫の中の俸給

一萬餘圓消える

倒売氏の含音完州都飛越面雕敬

狂言の疑ひもある

倆鐵事務所の

盗の容疑で被害者をも習慣し

勤以搜査に潜手する一方狂言

献金音

担款と雖も非常時局の | 東は年複数を変化することにとい

小野家御用達 京 城 葬 儀 ٣ĺ:

小野經日社長

尼石野野 春軍 人

れた陳列窓破りの極端事件、廿四一五個)一個を撮んで転騰の街に消

||時計店ショーウインドの耐子を||た居田により南部署で犯人惣笠中||【千歳】北支に斡戦し武破を軍

えた島打臂労働者風の曲者があつ

日午後四時廿一分大邱醫濟勇士證

羅南近在に蔓つた奇病はこれ

"豚公受難時代 現出

厳障で名誉の職態を負ふた鈴木部【大邱】北友の聖戦に戲聞中不幸

療養に儲る

健氣にも起ち上る

【磐原曲】また衛の繁華体に現は一致り十八金側幅巻時計

南浦に省口の怪盗

安隆され、鈴木部隊の英簋〇〇柱

【釜山】時局重大の折から結成さ | に始まって県居派拜、熊立委員長 | 日は堀川重硝糖除足、朝鮮選兵隊

|定し、支部長山本府尹夫人の成塔||深長 府倉譲員ら多数列席し、愛山本府尹の核拠についで合則を決 | 司令部副官籍田少佐、長濱沿兵分

干七十二着を献納

赤誠の會員一萬人を擁して

釜山國婦の發會式

日夜盂山郡破泉面流元俊方を

犯入漸く逮捕

共に釜山血満所の宮人技手を招き

の快種面景では眞相を調査すると

病理を探究中のところ大體脈でスーく流洲方面から流れ込んだものと

鞭を得| 以来に特別せられ克く上官の命に進生。す月二十四日松前野北方所 | 隊の突撃に際してほ解壁池に数数

地(山西省にして石家非と太原と一の物理を命中主せて三名の麓

||る院の道路を断つため森本部隊が||友軍の攻撃に多大の貢載をしたの

敵を攻撃した前世を行ればなるはいれるのの

〇隊に息つく戦もなく追撃を壊行

大田驛頭でお通夜

- 治療の負債をした日式の勇士

ちに陸軍病院に入る。 総治官民機無の田郷へ至えに

白衣の勇士

一盤春営隊正面に於て頑強に抵抗す

務め小除は容易に解験地を出版

山西線の華、金山擲弾筒手

喜多隊長の便り

『黄海の大捷』

を左の加く語る

?御心をぞ偲ばれる

大同江を艦出して。の深き因縁から

南浦商議教科書挿入方怨詞

塚、曹多俊三、帝山 推造 最近一ケ

遭難漁船の乘組員

の分年度熙ヤシヤオー

馬鹿な六名

化體を發掘

a体も下する機能観び致します。 B型の戦死者の遺配だけがやい

お作りいては戦地に居る甲隊かっれた。解別に係ちずて女材を養します。一件繁富としての

領知らせてることでせるが販収

悪っに向ひせず 近隣河幸福體

戦死 者は其後火機 にし負渉者は 早速衛通知申上けるはずでしたが

||平定占領|| ※丁|

月二日平定の長站部隊に遺骨を我一部下と共に北支に居りましたが、「を切り取って納入に戦はせた事實」 紙を差上げることが出来る様になっ 今要第〇〇師廟に陳任になりまし「後帯し且下定州署で取調べ中

伊鵬を選び六名共属のとよる下月 パンキ和漁船の不法に機能のた。 帰令帝宗機能継老島高地元所有 日間制共同数地に埋葬した河河一であると第一仏話に垂組員を節を

です。何一年に為して大変的八治外法権権統一権へを達取したとう神事許に「の恩のたまりにきくポートスは例」諸数例に其り配法の

●高級黒組ペロアーラシャオー

悲しき合同告別式

S品位行情は相互間に述証.

皇軍を慰問

皇軍に贈る

水換に戦却したこと ●大衆向黑羅紗厚司 ●飛馬教育降スコッチオーバ(前代へ)

にかけて幕南近在の副育様が横々 ころ全く既会妥義時代とある。現 | 韓の後拠を得て三萬一千二百人の【経南】 去る十月末ころから本月 これが防疫につとめてなりこのと | ゐたが道内密書間家を申しに各国 二頭、獨群三頭でこれが似染系統。を現金に替へて上百六十八周を 鏡城 | 有志によって直線下七貫と脱納者 ●森勝温黒紺厚サージ背廣三ッ揃服 ●練士向背度服ニッ捌 (スコッチ地) 大衆向黑ラシャモデリコ・

ル背廣三ッ楠服 最上品 十四圓五十餘 B品 八爛九十億

鎮咳祛痰剤

段質以來二十有餘年、海に第一位の整價を博してゐる

郵担約と称せらると特性は

(2)無湿性なること (3) 気味住食にて服用し やナきこと (4) 連用するも勝知、哪 吐、消化器時間その 他島もべき前門用の

なべと

SANKYO

(鼠 明 農 盛 星) 30瓦人金地地级20人金里钱 前 100年人 金 85銭 別に大量人各属あり 源·鄒三共株式會社



共









眞

から温まつて

◎銃後の護りを強化するため

◎ 木年度照ラシャオーバ (年

大連自 動車技術員養成所

支诏 京城府解路 **耐脏光化**門 授(3)1580·1338

の上が聲の上に、上型において、 門ってない新しい発戦を日本、机

て数で数をしてふり嘘かす)

状の二、三倍の長さの竹の様

聞だって翻手から水に作んず

| 署を群に巧妙な手が、後帯の各級

よりにも強かったため遅い時間に 後をおすることを辿りとし 機能な種族で彼然が强かっ

だまり夫婦

つた所が諦め切れぬのはココー 不ぶ男は種類してから八年間和君

東洋平和の道

#傷ものと承してよな当れるものではないといよ悪由で 母身者反對の抗議を大概大原に聴憾さる。 4のために関す者以後部が韓茂され、関身者は基や姉妹やその他身寄りのものを養ひ、 ンガリーでは親身音に視むかけると競技されたので獲身者たちの間には反對の氣勢が起つて

娘の親達は獨身反對の運動

獨身者側の戦きは結婚運輸の城の母親たちから起まれている。この方の敵情は獨身者俱樂

米利商事が本格的威民記録映画と「中の『鬼洋平和の道』は先づ丘子 鈴木重吉監督北支へ

撮影隊を展置し、製作一米のネガを使ひ、北京を中心に天 郡、大同、保定、報道一帶○風景

数千年の修統を誇るその文化の紹 建設されて行く数

人れたものである。日本の戦いを取 聖林の歌姬來朝

理想の夫はこんなも

ツド銀花県の龍姫グレース一員の苦団と共に最近撮影所の全様

活甦生の質問を いつかで

この問題多の祖籍を克服し郷へ日

氏が十八歳から二十五歳までのア んな人だららか、最近ジニネラル フッド食料品食皿々長チェスター ものと言ふ極て虫の良い所に落窓

田

路を能かに落すと、敷牧の郷気を 稼ぎ すべらせ るぞうにして、 むますが、特理學上水の分子と のある前街としては、コップに

崇称するのもよっしい。その方法 特殊への發動ともなる。 前るのもよっしい。政職務男士を ひ田の郷い鍔後への顕著 はるのもよっしい。政職務男士を ひ田の郷い鍔後への顕著

財間袋を送るのもよろしい。 歴 は造成に保険金の全部が支拂はれ

出征者に對する説。それだけの熱臓があれば、それ等 年内に左の十四作品の完成確實と

に相述ないが、それだけの同情、

出征保険

『掘つて「喜談』 るといふ方法も一つうきです。、の心悲しは、日歌 勇士のために、簡易保險を惣約ずの心悲しは、日歌 勇士のために、簡易保險を惣約ず

して、水がよほどあつくたらた。

科學應用の手品種明し ハオモシロイツー

お茶がインキ

でつまんで齢かに水面に近づけなるます、しかし、鉛の中央を指光 がら、そうつと水に敷せるやうな

気持で指先を確しますと、不思議 て、半紙で包みを拵へて中に水を 北支那。縣特殊性 一概はどんなものでも燃えるか、こ けるに決まつてるますが、かうし まだ、いくらか物の入る館地があ 五子との間には空隙があるので、

もつとも欧羅巴まで擴まつた元の

ムーア嬢は明年八月一日上り東京

た蝋燭のとけたの

見えまして、おいしさうでござい

方指の前代の金も中原に入ったと 新 職以西 の地は紫古人の領土と 版関がより廣大ではあつたが西藤 大船に變り種女優

めから或鏡道倉事地方に整伏して

獨選の國旗をマークに辞け、ヒッ 總統立原敬の餘り、隣には絶えず 情熱への反抗

一度に枯渇した明の弦に乗じて、栗一

(興意)地方に入つて本據を作り、

れて明の透鏡の開館が手腕くなつ一

等の英主が扱いて出て四方を征略 かずるに聖職(展開)高歩 (乾隆)

つた大衆小説『维ち 米國で昨年変形切だ

京城黄金町二ノ一九九、経繭之衛▲鉾涌之衛生(十一月龍)三十四 東京・日本橋・滙─、東京諸寅食◆錦海(十一月十日號)四十段、

日活多唯川撮影所の根岸所長は今 日活現代劇十四本 ●朝鮮 (十一月號) 三十段 《京·碑田·濹町七、大睦研究· 【大陸研究 (十一月號) 四十獎、

東京・神田・司町一ノ四・解剖時代(十二月號)二十段。

A で始めて愛受せらるよ。 に改良を加へ製剤毎に脱密の動物質験を に改良を加へ製剤毎に脱密の動物質験を なりを、研究に研究を重ね改良 勝を博して居る。 勝を博して居る。 勝を博して居る。 勝を博して居る。 勝を博して居る。 勝を博して居る。 勝を博して居る。

農取業實際

1 『子は誰のもの』(以出伍是1 『おめでとう帝

品、衣笠藍香『一人肌觀音』(好 させる企動の下に先づ新春転頭作 伎の名類俳優運を映画に特別出資 よ映畵へ出演守田勘彌、愈

てゐる日活、然には限このところ育卦に入つ

A? O*

だ正月白族上げよ

東京・神田・鎌倉町、時ぶ通信社会議局時報(十一月中旬號)後約、 ▲別の数 (十一月號) 東京・神田

本に単上第一號を使用する。 法に単上第一號を使用する。 法に単上第一號を使用する。 法に単上第一號を使用する。 法に単上第一號を使用する。 法に単上第一號を使用する。

安 工作 基 登

發明特

装を凝して昭和十三年版いよ~出來!(智慧) 普及版金五拾錢中形(紫華) 金八拾五錢

行所・・ライオン歯唇

容赦を乞む個

ライオン・ダイヤリーを發環 北海県 (総職権・北海県) チャンピオンポンド 大好 野 中川に 散行用に な 質頃。

は金条言己の活生日告

A O 出来た獨特の菌製劑なれば其の使用に當り毫も不快の菌作用を發することが無くり毫も不快の菌作用を發することが無く而も効果は灿礬である。

Met 大阪六〇七一番ヤマト解製統所

◎本年は別に革装紙ポケツト型の 名古用市市西區與名前四丁目(標準日原名古用一九三〇九旬)大阪 市東 孫博勇町三丁目(横岸日際大阪、古川、電子、電子、電子、東京 市 木原區 駅構一丁目(横岸日座東・中川八三)。



く小原太に仇を討たせたいと思う。大『其れ程書でに仰せ下さるないでも覚いものを、私が少しも早」り』 た」と大原忠医職助の死を持っま った宮政ない最階を言せて了っ

たばかりに、共方の事を訪れて居。御刊行扱して宜しいが、何に致せ

假牢へ入れて置いて、代官が受々 蘇へ田る、大助、小源太の兩人を ソコで早速此の速しを代官所へ たのだから、さらでも致きたけれ

兵衛を切つたのは酸的をしたとし、相逆ない、シテ見れば小原太が長 で是が動かすべからざる設塊となりの家にある道理がない、ソコ 門を討つて、系聞を踏んだものに あらはれた、特非家の恐嗣が印 つて、正しく田中長兵衛が簡并右 者武麟未熟ゆる質所の御供数して 頼みがある。外ではござらんが訓 小「時に村上先生、拙者質所にむ

人別が費用立をしやうといふ時に │ 大『左根』されは……↓ こざいません、五十日はかり經て | さます』 | 資井小原太一宗の裏びは一方で

記(十五年) (01-00) (01-00 (01-00) (01-00) (01-00) (01-00) (01-00) (01-00) (01-00) (01-00) (01-00) (01-00) (01-00) (01-00) (01-00) (01-00) (01-00

一寸高ナグレの商状であった。日本語の質付け見送りと改

地は高唱へ る玄人筋が多い

してゐるのと學家は一巡産地の實物としては依然

援句として品薄の方であ

木 俣 茂 搦 晶

一龍齋貞丈演

仁川 穀 物 田 入 (世五日) ち飛込んで来て、北村助人の弾耳」 大『キャー・デュを立いませた。 は近の上、下山長中郎 (業の最近のようである) 大『殿助、曜りしろ』とまひなが、た動りたい。 はかして重さないがきるかれる これ との 1 (世の上、上されている) はいます。 はいます (世の上、上されている) はいます。 はいまます。 はいまままます。 はいまます。 はいまます。 はいままままます。 はいまます。 はいまます。 はいままままままます。 はいままままままます。 はいままままままま

0000000

一と思模様となった。 がら神能は田来美せんゆる、何分 供を仰差がよられたい、前昨の様似へて定期の転割に用場 は連もそり助かりません、突然だ カーイヤさらゆこしれず、是事命は乗り長途られ勝ちとな 『ペイ・著し長が、此の続手』 お願り教主』 「中華がないから、下上此の確はの世化し来たつた間 『ペリ・大『殿』、個り教せ』 「中華がないから、下上此の確は

う負引とと、長こうに別し、「魔功、雁り女せ」大注と終済に指領安から「大『魔功、雁り女せ」正 米 一米井知らずの市 ドウと打倒れた、

ヘバタリと倒れて了ひました。 一報 会員きをすれば少しも有支付ご がら御洪は田来ませんゆゑ、何分』供を仰を附けら社だい。簡非の家 と云ふかと思いと画島劇助、共和を数す位の事は視眈の者一同へ 一は女どもにでもなる。此の首の東

川正米市况

後々の事はお頼い申します。

いても覚いものを、私が少しも早 う」

より貨卵の御殿で親の仇討も田来 一寸即幾条の方に何つて見やら」 んで其の意中を聞いて見ると「周 ソコで簡非家の親顕を残らず呼

\$4.50 \$4.50 \$4.50 \$4.50

東が出来た 大「共れではお伴を申そう」と叙に宜しくお照申します」といふ。 は高人も気が飲みますまい何分出

(## L)

田中長兵衛宅を調べて見ると一斉

の浮いた刀と筒井宏代々の系閣が

2年元55二

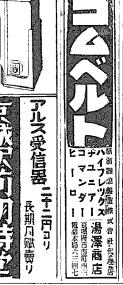
し正常であるといふので、 是は切 | の義を結びたいと思ふが如何 | 大「共は最と容易い事、承知致しゐる間に胸稿古を願い度い」 小「其は顎つてもない幸ひ、然ら た、就て今日より御身と拙者兄弟

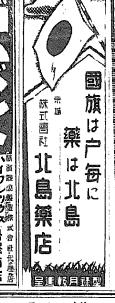
他切られ様で事が納まりました

小『放行上先生、世所の御殿で私 開人が兄弟の間を報び、仇婦の高小『放行上先生、世所の御殿で私 開人が兄弟の間を報び、仇婦の高小『放行上先生、世所の御殿で私 開人が兄弟の間を報び、仇婦の高が手に成って」とた。















造

社

交官**七** 揆保**滿第**

 唐麗之部 盒

著

(最新刊) 定價七四五十錢、滿鮮六十二錢

附籍 観督の成果と政界の推移 第四部、監禁 領制下に於ける農村 第三郎、第七十回 **第一部、土地問題第二部、地班時時間** 第一、重要農政日誌 第二、第七

すにのそ國ぬて普 名解謎の・桁は通 漫いを國支外割の 談て見民那れ切常 !!示事性!なれ識 日本農業研究會編

思电、宏

日本農業年報「第十輯」

設定 料假 十二

松 風著 (最新刊) 灵过四 科哲大

ᢔ 百餘人一千餘句 供 選 代 表 作 家 の家作 想 感

郎三清宅三 三 京 東

地文白上井

氣" ホ

部ソ 床り し色

3

東

に粧化淡

に後り剃ケヒ

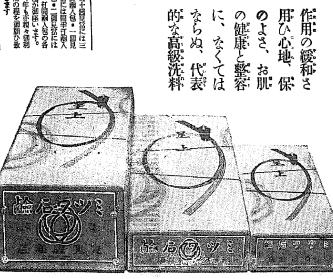
にみ嗜身

に前勤出 ヘリ きる男性美キリツと肌をひきし

さ白は 漲

一家一瓶

油性物植級清。





のアクラのないか

V

東京・兩國○九見屋 商店

り長職派標を攻撃し走行場、統制・分配・多大の効果を収めた 場でを派遣することになり二十七 「天津二十六日同盟」わが加藤部(龍海家庭)の機は加藤市家長自ら相「を襲撃、震弾は河縣に秦く命中これを「局に對しても日不側より官吏、検験「震弾は下六日同盟」わが加藤部(龍線家を弾(海南々方六十年)」 そう 荷筒コストーコード

今や完全に我方に歸す

庫、軍事施設などを振報してのる

御奮戦の外邇宮殿下

逃れたが機は遠に抗することもな

淺間少將凱旋

陝西綏浙主任楊虎城は二十六日午

守備に斷乎たる態度

泰安驛を爆撃

今は後任部隊長の下に勇敬して心持がする。わが愛する部下も

【上海廿六日司盟】國民政府は今

工作に汲々

こて慢を窺ってるたがわが軍の第

領下にある上海交が側を登開に對一要とすることに決められた

【上傳二十六日同盟】我が軍のは 日本の検閲を愛施

なは野砂局及び西底観による強受

信に對しても今後日本の検問を必

離脱した今日、速かに同市に河南省自治政権を樹立すべしといふに各代表の意見一致し直に準備に着手し二十七【磁縣二十六日同盟特派員設】二十五日彰徳において各市民代表民衆大會開催の結果、南京政府の薫政より完全に

けふ彰徳に輝く樹立式擧行

國民政府より離脱

日午後二時より同市に河南省自治政府樹立式並に政府主席推載式を舉行することに決定した

融資委員會をして賦的援助をなさ

上菜及び繊菜に針する必要な

て軍備品工場に對してに勞働力 十天車機に際し 方を勘異せしめること、なつた

て生産力増加及び持久をほかると維持し生産能率を増進しもつ

專賣局歸令(甘五日治)

定、菅下工場主をしてこれが賃行 等に関する指導方針を左の如く決

◆民産衛生に関する事項(一)

ため労働力の維持者通、災武防止 における生産力の増加及び持久を

展狀態低下、災害者加等憂ふべき 煙薬が機械的に行はれ労働者の他

東雷品工場において相當長時間の

か担心かも知れない、俳優の指示をつけるに親て第三國の介入を

行っている。併しながら特米形勢の變化によっては或はその必要

することに対して日本としては魅力することも歌へられるなった。 若、その風立波横が日支護支援歌へとよい、またその政権を弱化するの。若、その風立波横が日支護支援歌へ上に役立つものであれ その他の他域に国立政権が起ることは四國の情勢から見て必至で

ての目的で、この建前は今日も依然變りはない、故に北支でも上

の切り喘してその終局を整へることは出来ない、即ち國民政

長突戦交の脚盤により磨壊共同で東洋平和を樹立するといふのが

単事上一層有利に働く供れのあることは十分著へて誰かわばなる

うかといふことが残つてあるやうだ、漢日まで行かわばなられ 戦局の見透し、素人の側面像に恐ぎないが軍事行

の介入と振撼するといふのではない、今日の所でに未だ何國からりはない、然し近漢文歌を聞くまでのほんの橋渡し観史の郭三國

権約の嫉嫉は今日率ろ運ぎに失する觀がある、

改託をなすことが最も必要である、東洋の問題は東洋人の手では

るそのうちに北支にも河等かの政治器機物闘が出來るとにならら支からは頬りに政治無熱の個別を寄こして欲しいといつて來でゐ

九ケ國條約問題、九ケ國條較は韓國際報といふ

らうが、今の所工の時間をよく考へねばなられ、九ケ國

ればなられ、施業体制問題も今のところさして問題になって居ら

北支政權と經濟工作。最近北東から聞って

・ 月頃までに新政権が出來るやらだ、北

い、山東省は自然にこちらの手に入るのを持つてみるものと思

若干その態度を疑へて來た節もあるやうだ、ソ

中旬になした壁明に述べたことが事實上判明した時であらる

ころ改めて聲明の必要はないと思ふ、更に再墜明をなす時は八月 |再発明|| 長期抗日に備へる帝國の方針については今のとデるといふのが数平本の我国の國母となつてゐる、だから……

よれば相當の武器弱要を供給してるるやうだが最近はイギリスも もそのゆうな情感は示されて居られ、英國の態度について職報に

こったら勿論我園としてもあくまで長期に見る気候を以つて徹底の一帯し反省の質を示さず、所属さでも長期疾院を復けるとい

のは筆難言、従いて事題は今事の無機としては中々折れて來名の無機としては中々折れて來名の意。所介有の私の事の場合の言語が有の私の言語が有る。

宣戦布告と第三國
全回の事題は変那民報を

らく、 解介石は密初から今後の ちら、 解介石は密初から今後の けた。 は、 解介石は密初から今後の は、 解介石は密初から今後の

したやちだところが日文明の完 したやちだところが日文明の完 くな数を「確認さた」とは現すを主した の見趣」に大きた親華を主した 明ち日本がこれ時では原因一 世上に大きた親華を主した 流さればならぬが、支那も水成 其し行く日本を呼ば取する必要 がある。而して者上标本日本が 女那と精和を抗衝する場合上の 相手は中はり所介石だと思つて ある【窒黄は川郷大復】

> やうやく意気情況と一部にはすでにかずかたがら鉛目を腐棄が潜行的に行はお職局の一段落を飾つかつ如き駅が変はれるが一方もでうの事物はづれに自興自動になった は自力更生にあるのみと極めて悲觀的な論説を掲げてゐるが、1万支那無緣の全面的瞭徹とこのブラジャル含識の失暇を耳にした顔には

依り愈よ來る二十九日ロンドンを

| 談に田席するサイモン大議大臣が | 虎秋間) はこの縄難設工事完成し

開拓) 重要鞍壌たる鬼椒線 (舵山

日间盟] 東部國境方面

されることになった。 せんることになった

虎林線營業開始

生」関係の三颗合は二十七月官

した。『米穀の鷹魚指菌に器する

去る七十二歳音を通

米戰三勅令公布

る意向だと証明した。

お哲全移記し、十二月一日より満たので議院園政府は遊戯にこれが

飲き治練局の事により運動情報を

言に決定要素された

米大使談

においてに独局國際政局に衝撃を | け問題が論談されるものでないか。

いうと見られてゐるが英佛會」と見られてゐる、るぞうな重大決定は百ほれな」と見られてゐる

軍需工場における勞働 力維持増進の指導方針

ル會議の悲報は支那朝野に對して異常の衝動を與へ言論界もこの會議の失敗を取扱ひ策を揃へて支那の生きる道 【上海11十六日同盟】職権釣以下三名の代妻を送つて支那が穏大の即欲をかけてゐた九國條約會議は昨二十五日を以て舜珈作會の終末を見たので、この

般民衆の精神的動搖深刻

に異情な衝動

和黄上院議員ペンリー・ロッチ

五日近く中立法におけ

カ臨時職合開食と共に中立法改

る異は各方面にあがつ

サツツセツツ 州美田

センチメンタル派は長期抵抗を依然間持してゐるが一般國民の納神的動揺は相當深刻なるものがある

有利に進展し諸様は常州又無動西 中の部隊は今早朝長県及びその南一岸の南京旅路を北上、江蘇、浙江省 一、時残表── (一) 太洞南方に作職 | なだらかな友山路を縫つて太湖西 〇二)太湖北方に 於ける 作戦又 崩進し〇〇に向つて遊戦しつ、あり地方を占領し綴いて敵を追撃中 境に向つて秘池を鎮付更に一部は 石がに埋れる酸は既に最後の要害 完全に我が占領するところとなりよって太湖の東、北、南の各地は 七に足らざるを知つて積々湖洋 り江蘇、浙江、安徽三省々境にあ 第に省ると共に一部は三州山脈の が無したわが部隊の一部は頻繁掛 長興占領部隊

敵機と空中戰

フラツセル

よりの悲報

東京就西大本營海軍報道部二十

相、信念を語る

戦勝祈願のためきのふ西下

衛

桃の途。東中時局全級の虚臣につき左の如く攻所の態度下、併勢神宮、橿原神宮、桃山神陵、熱田神宮たどに急 信念を吐露し力強き、明泉を異へた。

在智部人かの本法を追が備へられ、に立場さを指表したが、べっすが明確を生を模響として高大品化、中国は所管を表をして全力を光常のが関すると表情として全力を光常

蘇聯の不法に樺太廳激憤す

|止すらためを置の手段を称じつと||である北峰太の覚情に置ふ北峰五一巻かのはでピストル・網等を作出「妲しして本権する皇邦人に対する」のに関わず、かくも不適任者の最大事題により最長軽減の養養を謝||在登邦人への不法匿主が能へられ||に立英さを遭責したタ・ペ・ウが||旅港に戦率してるた戦戦を低後後、群に部門をもつて後等に探してる 【号原電話】 様太慶繁祭部では女 | 十度の縁を以て腕する日辞関境の | して之を骨追し事實無根の護炎を | 非人道的不法行為を暇出すると 新せ三十年といぶ長期和に**成**して アコ監獄に投じ或は我が領海内で

を鍛べて國富に韓田しの田訓さんは今、せつ

いな…人といって大 や若かつたので元気

、殺はれた、との事

「真真は田瀬さん」

†

傾重なる禁戒を行はしめ 機関をして重大なる際信 を持ちなる。

メウデ

アン短期療法公園の学博士秘法

脷

方を接続する彼等の策

決意をもつて臨むべし

調養機

無料で五年間の苦悩に打勝った

り、更に萬一の場合に

毅然たる態度を示して

所願臘船は逐次一旦軍港に歸投し 所要の整備に善手し 人員の今次上海方面における 陸上作戰の一大進展を機として それ智麗資素・水野大將麾下の聯合艦隊は對支作職に從事中のと となれり、鬼類がに相談とられた文都方面際に依然音画の信頼を観行中にり、補充交替なご諸般の準備を急ぎ、更にその陣容を一新するこ

一同さきに優遇なる。動器を拝しや御宮部し、愈上今後の情勢に対應して田師の目的質徴に

・明らる強軍機の機は「十六日正年」・「職債監検と連通したが非然な空中「中心に煽動中である。而して極な」・「「自己 頃丹陽、枫江方面を偏落中、丹陽| 戦の決之を矜走せしめ無事任物を 上空に放て南京方面から襲來せる「達成して歸還した **水德、延安 『集結** 民戦線膜の互頭野津着を地域すべ

| た朱億の第八路軍はわが孤撃に連一献く庶勢を崩て直して目下延安を|| 四級山軍と即力して部場に抵抗し、映西省に等崩を打つて激走したが 【天津廿六日本社特電】 つて太原平野の一般に大艇を哭し 本社見學

近く米臨議に上程中立法改正決議案 ・シ二十五日同盟】アメ

ン関在パルセロナ名野領事の セロナ名著領事 注目される 連目される

【東京電話】二十六日の開議でス

ルセロナ帝

磐領事免官







川東名のではないかと思ふト編 川東名のではないが、全種として 平面に比較すれば前途は明 が、全種として 一年前に比較すれば前途は明 が、たをうだ、ブラッセル食 を渡って得る重視が少しでも残 樂園百花の精を源はせます 粒は室内の空氣を淨化し御火鉢へ梅の雷の 梅る 香 (量送錄目)

はマラリヤ紙の配送の メリカ大使ロバート・1ク非六日同盟』ロン







穏き刺席をかねて二十 応氏(日本石油社長)

人

以上、萬全を期すべ



ものかなあ▲と二宮

▲いや妙な様といふ

一會つた正指頭業社長

っする▲京城に來て

▲はて見たやうな質

えると、あにはか

た新兵さんだりない。 ちゃない





北支戦線スケツチ

23

鮮内畜牛の移出

能力は豆粕日産一萬枚である

N. MARBARA MERENDE MARBARA N. N.

血强比别类分

戦地の上空を飛ぶ(其一)将後上から最地を見る非は日本を整つ時からの

廿二日より卅日迄一常子屋を京城日報社

に光る献金。

これぞ銃後の奉公

殖銀米資增加

商組令はなは各局間で協議

内公布は不可能

日本は戦争によって躍進し、 旋救護

TR.

千百六十

拓務省 が消極的

記まれてふる、たほ拓粉省の無関 總督府と中央の聯絡を盟化さ

皇軍

財みやがにツルテュク 苦った介大喜び

誠鶴の優秀

大下に冠たり

天下に敵なし ・進む處

随る消極的である、即ち同省は政

京城法部部門學校統論大倉は、

十七日午後八時半から本証後援の

輸出は頗る好調

半島貿易躍進

0

白仙京城代理店等日仙京城代理店等

Ahli **高**

天德鑛泉移入元

酒類、牛皮等の

、月以來の入國者八千五百名

邦人雄々し

の熱緻が掘ばれるはずである、硫

京城法專の 辯論大會

議室に於て能議中である、 まれた中小商工業の互助投稿に为 | 体貌されてゐる

でてある礁つで同法令によって脚等ではは同年間工職に於て研究を並め、本には明年となるはずで一方面素組合・不

は明年となるはずで一方所業組合 てある鮮内誠工業の强力な紙載も 局に郵酬するはずであるが、公布 偽に同業組合會によって紙載されした「日業は年内中に譲了法裁」論、月下内鮮間に相処販應を呈し

皇運を扶翼し奉る

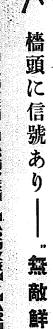
入野政務總監訓示

皇軍尉門金 (蔣名の敬) 十一月廿五日取扱 累計金七萬二百三十 **發也 经也**





檣頭に信







北の二萬千六百二十餘名を配頭







夕刊後の市况



理想を持つインテリは人気的に関い心を持つてゐるが、生活に

を重むことは生活が許さない。 積軽は出来てもたくさんの子供

消すより起さぬご用心

を揶謗で拭つたのに引火したとい 明復以後には四十四年の新吉原 くの火事がありました。明暦の大火、目黒行人広や一 夜毎に警戒!殘火の始末 の主婦は、家人に對し、火の用心 りは起さぬことが第一で、各家庭 近年は各地の消防設備も完備し

で押へつけて火の増える隙のない

一段々高じて本館の吃奇者とたつ

とか、吃音矯正器等が發質されて

のをか丘でよく、小根を主称に

らいたどいても圧變りで結構です 味しい胡麻���を拵らへ、つけ乍をつけて都込んでもよく別にお美

海線の湯でさつと茹でてをきます

我上病院 於

| 要的療法はありませぬ、只之れが て話す時の不安慰乃至恐怖心を種 騎正法としては、心理應用に使つ

へたいので、爲めに鬱憺的には

は嚴格な 意味に 於ては拠病とはがある翻で無く、能つて際學上で

大根、単学もそれんく厚切りに

起つたら想ち大事に及う態激があ 語で、それだけ國民こぞつて防火の

日本武雄か設何

に起るだけにその機能も地震以上 留、火事と並ご経されま

新撰のお洋服について、二三海 | らの男子服は非常時の反映で

スポーツ味

について御注意

假然火事が増加し

については光分の出意を喚起し脚



惜しかった八六歩 先手方攻撃開始の三五步

の楽人は盛へた方がよいのです。

一、悪性か或は栽年、十数年の慢性患者には、短臂、中替の水

代金別換にても減らに適附す。(前金能される時代の解注、アパート製品部にあり。毎年の解注、アパート製品部にあり。明定をおいる。

能文は選到常融資度)/あれば

日中衛がは投密し必ず

一百百00

東京市日本橋医本町

歴・東京・一九三人(七男人) 七日九 七日九

、慢性、或は再發の患者には

ず洗つて、毎日汚れないも には、必ず配と同じく二足

XX外母から儲つたら、必

でない良質の純毛郁下で、

心壁さんがあつて特別様くしてく

拠四五年位で、もち方によつ

洋服一着の

ヶ月から 1ヶ月半は大丈夫

伝は頗る簡單安全、携帯にも頗る便利である。

ウラルゴールとは一間一答で示した如く、鎌と商素を化合した

就

と價格

大州-八五二 一五 定 包包包包包

国国政政政道

の円七五

はいを利かせますが、一 つて、もしも潜れたまとはもよい條件の下に於てなる

に駆まつて開催さ

ニング髪として上品に結び















好個の参考資料

U. 1014



男子の淋疾は尿道内に潜在する淋菌を徹底的に 撲滅する必要がある。しかし之に對する従來の 治療法は一長一短あり従つて淋疾は容易に全治

である。

頭痛や

めまひの時

へ流出するので、

過ぎない。故に内服薬のみにては粘膜深層に潜 適させても、其の作用は尿道を通過する瞬間に しからば洗滌、注入薬は? 在する淋菌を撲滅する事は困難である。

て尿道粘膜の微細の部分に

神經が

イラつく時

底不可能である。尙ほ沈滌、注入等は水壓力に 出し、其の殺菌作用は、一回僅かに数分である 必要ありとされてゐる。しかし、 にて淋疾を全治せんとすれば、一日七八回行ふ 故に、たとへ效果ある洗滌、注入薬にても、

道内に完全に入れるのは困難で

なる療法を撰ぶべきか。 等にては根本的全治は困難なりとすれば、

在する淋菌を撲滅し得るもの、 第二に安全にて

淋菌に對し最も殺菌力が强大なのは何か。 銀劑である。從つて淋疾の薬品は銀を主劑とす

銀と色素の化合に成功すれば、右の方法にても では銀と色素を化合し、之を水溶液として尿道銀に色素を化合すべしとは最新の學説である。

きた一般患者に對しても大福音と稱すべきであ

が創製された事は、専門醫及び専門外の醫家、

しからば、その銀劑を粘膜に深達せしむる方法

とは、この最高理想を真に真體化したものである。ウラルゴール(日、英、米、佛、製法特許)最近、淋疾治療界に非常な勢で名璧を高めてゐ

各語店にあり

つて、初感染は勿論の事、

敷年、十数年の慢性

快心の結果を得た

重痛

精神憂欝 齒の痛み

際

製 薬 肵

にとゞまり、質現不可能の事ではないか。 たゞん \ 感嘆の外ない。しかし、之は單に理想

ができ、しかも用法が簡單安全で専門醫でなく

て尿道内で敷時間、殺菌深達作用を持續する事

し、之を粉末とし

とも使用できるとすれば、

質に驚くべきもので

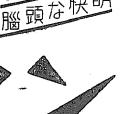
しまで平等に分布密し現別力によつで、却し、之を尿道へ挿入し 病巢深部にまで深い作用を發揮し、共 へ入れる事は到底 あるか。 て、直ちに溶解す かし其の粉末を尿 内の分泌液のため はないか。 次の放尿時まで 銀の殺菌作用と

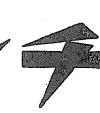
敷もなく、前後の 中に粉末を充塡し れしば極めて簡単 て尿道内へ入れ 快明 tà

其の管を尿道へ挿入する方法

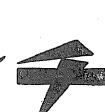
乙.正尿道へ入れ」ば極めて容易である。

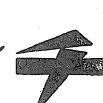


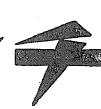


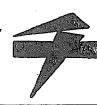


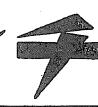














砂利採取の

近上下4号で記す争引祭又より、三 統無無氏はか八十三名が中央統領。 間に選すべく間所管内の忠州、欧

では去る十日の克己恋恋日に断長

乏人は禹歳

治廢さ共に滿洲の取締り受け

流質期間は一ケ年

忠州の葉煙

百六十七萬圓

製造山窯部隊の明内力者からの「人生の妻の指芥なお茶」、と見せ、「ここまで、こうな見ばとせて、原理して成別)全成機の名類手、上海「くつてみます、酒保で日用品を購入分に報道して居ります、原理生活「成別」全成機の名類手、上海

で離成以來の色々の變つた面白い

接會總會

馬ドノご仲よく精進致居候

田内君の陣中便り

梁堤内は大鹽田に利用開拓

* 鎭南浦の一石二鳥案

「四十日間の沸氷 神秘にとって、前記二千屯級老的」法国する永規とが一層となって河 | 里でリンコ隣を替む種軍水路部

|たが、今回%た前記||案の後の象

くべき事實

咸興府内の唐辛粉は

皆がみな不正着色

漁夫達の赤誠

朝鮮製鋼所

高二大・幸力・赤城 会事務所で想軍の査問を執行 「日本明」で、本町「日本領・華田の発力・日東になり済行高等、昼後の 「日本の日本の一十日東は会会院に 「日本の日本の一十日東は会会院に 「日本の日本の一十日東は会会院に 「日本の日本の一十日東は会会院に 「日本の一十日東は会会院に 「日本の一十日東は会会院に

年に一、二浬宛繼續で築堤

ら押寄せる成氷群は完全にこ ('m)が去る十八日午後六時頃同郷

鮮製網所ではこの程工事完成した

儘ならぬは浮世

若い二人毒をあふる

足を切断した元消防手比在吉氏に一壁に引込んだきりで廿四日午後二

共販すでに千四百萬斤突破

總量二千五百萬斤に達せん

単校で軽大に襲行、これで明治D

局値の自由賣買 共販の趣旨徹せず

間島省內本府

に所持金を駆取逃走した間が

小磯軍司令官

んふやちつうを採兵、悪の朋友でれそ・ん 12 3以 「」 (影場氏兒光藤近 都京) 十で和日春小なかゝたあしよだ

である世のことは完全へたちょう に地へられますが、これも可けません。 記様を健康のある間は安脈 が第一です。することや駅を保つ であると、 温顔不足から全球を保つ

助談数・Worの難い時は、超き

Le と變でゐなければならない きず、 苦しくとも我慢して 一般人は相過が思

展稼する病人がよくありませれ
高熱の苦しみもあつて、東上に

開伝か数名を贈べて、廿三日午

海軍機の資金にご

廿二日赤誠を披瀝

内鮮なかよく

【秘南】内鮮仲良く光輝ある陰軍 | 一時から野磯貝舎を開催、左の諸 羅南中學校の兩君 非常時型官吏〟の息

濕性肋膜炎4

級せしに、別用してみ、おなく終へました。 近の複合を確々、早進、が生傷り一つせずその難につる。 がな傷り一つせずその難につる。 がな傷り一つせずその難につる。 がなるがないません。

たっところがとうできる。関語は、一大のボ・ナ人質行してみまし、ころできるとないのです。その時間は、というないのです。その時間は、というないのです。その時間は、というないのです。このです。このできるとないのです。このできないのです。このできないのです。このできないのです。このできないのです。このできないのです。このできないのです。このできないのです。このできないのです。このできないのですが、その音解は全々お話し出したのとない人はあるまいと思へし、その音解は全々お話し出したらない人はあるまいと思へいることが、おいいできない。そのでが、その音解は全々お話し出したらない人はあるまいと思へいることが、おいいでしている。 こくことにこうことには、一つて、粒根の樹原治療の第一に見

副 病気

庭

すこの単は、近代国事上最大の襲すこの単位、近代国事上最大の襲されるのは「蘇州わからと」でありま

所被に、四腸の機能をさかんにす 安酢を保つてゐて、しかも全感を 概ることが必要ですから、そこで

禁養物を充分に

の方法が勝しられなければなりま

酸に、レビターNK酸等の見と云はれる専用機生物へーフエ

藥用菌を複合

り診断法

(三十八度以上の高熱が)時々多少の解みは胸に脱ずるもの ●多いのは肋膜炎と肺炎

学出て、一般の智能が であります

んが、脱壁が柳葉されて、安藤か必要であります。肺炎は、皮圧されます。 て駅から水の壁がは緩さ、梅菜油は被り物では、いつれた。町の連携では ります、脈結接では膨緩と、様々油は被りができれませんが、焼が埋されま があった。

純核思省は

Æ. なこれを 防 ۍ ζ. 3 療養心得 ?

とは、菱鷸も止極不振も 現在、遠京なくせずが、ことに部立してあります。 歌人とすが、ことに部立してあります。 一振を促進し、企然不振 抗力が致べて



| | 代報作用を建すか の頭山に生く

は、特別の世代では、特別の

ず、次第に腹を場合の

・量よりもなほ多くのエーく気道し、揺取したエー

が消耗されるためであ

者はいづれる。

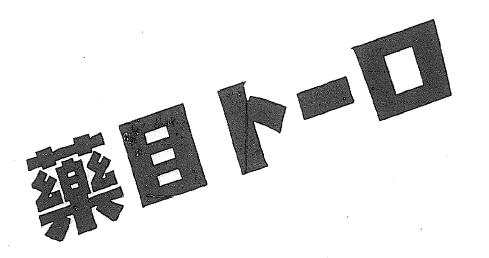
いのは蛋白質の代謝で

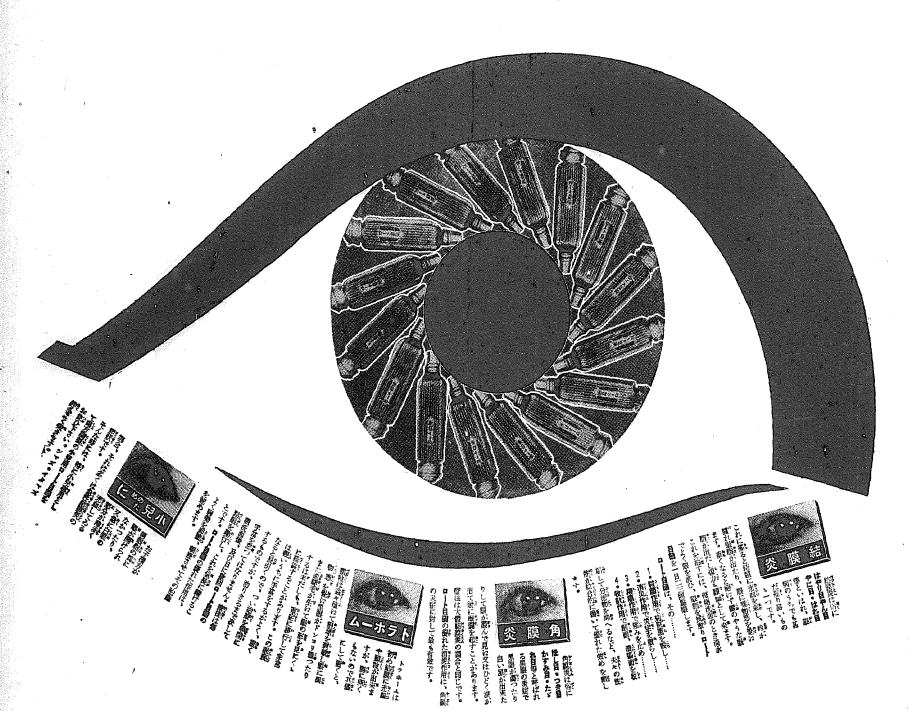
元分に作者されませんと、くことが非行したくてばなりませ 門になくとうされた、「消費は れを続くには中間の際力を繰 れた証明、数水放業も、変白 利用されたい色みがあります。こ 元 はなくとうされた、「消費は れを続くには中間の際力を繰 れてなくとうされた。「消費は れを続くには中間の際力を繰れていません。」 四月行の一陸成のために企窓 と 一克し、また白心球咳嗽作用を貼め 質のために歌った細胞の排験を排 れて唇もからです。この効果を夢 | 町上「細胞原形質味活作用」と云 る節の作用ある物質が豊富に含ま 即ち「鎮脈わかもと」には、

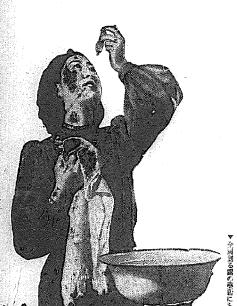
るべきものであります。 と云つて 更に本館中には、グリコキニン 食欲山 茶の別名ある成分

なります。 然が遊んで禁笑の充質をみる様によって吹涕に恢復に赴き、特に食 すので、結核性の可能酸減も之に可能薬としても充分効果がありま て胃腸を根本から丈夫にする酵素 や各種ピタミンが含まれてるて、

右の「経州わからと」は二十五 日分 118以十九次、八十三日分五 同の帰域で、東京一七〇一等)の設置で、全層 東京一七〇一等)の設置で、全層 東京一七〇一等)の設置で、全層







阿莱昆安田园

(で) 他 用 五十日 (で) 本見用 二十日 (で) 本 用 五十日 (で) 本 田 三十日 (で) 本 田 三日 (で) 本 田 三 (で) 本 田

o 適

麥結 膜 學 校 服 學 炎 聚 基 類 數 數 數 數 數 數 數 數 數 數 數 數 數 數 數 數

第二 に規模に関連です。 職もキャップにあるか第二 に規模を置めばいて。 職もキャップにあるから原伝統です。 職もキャップにあるか

□□ート目薬の點眼容器

我皇軍は北支に上海に家翼又歌戰、勇士の は日夜の別なき過激な使用により多くは血 に炎症を起して赤く血走つてゐるでせう たの上蒙古沙漠から吹炸くる黄砂や歌座の だった。 だった。 での上蒙古沙漠から吹炸くる黄砂や歌座の だった。 での上蒙古沙漠からなな。 で水で洗面の止むなき事なごに因つて角膜炎 トラホーム等の服病に罹り易く、一旦眼を歌。 トラホーム等の服病に罹り易く、一旦眼を歌。 トラホーム等の服病に罹り易く、一旦眼を歌。 に眼を変した劳苦を思ふ時、卓然に でのロート目薬の一場こそは真に適切なる胎。 物であります。



皇軍勇士 の眼を護りませう

慰问袋に

目禁をし。

夫を思へば

後願の憂ひなかれ、と

分る事系の歴史とくり増しなる ないいってで形だいもってがないますで形だいもってが出来

本語を話す少年

短制徴發を告白通譯に使役

回線を増す

鎌遠しついある水質部の

來月から開市

用意が肝要。 痼疾のある方は早

賞家 いと日常り共に良い

悪化せしめます。 外氣は症状を貶に 秋から冬—恰たい

資出 (2000) (2000) (2000) (2000) (2000)

京高事 名 在

運

(美) 中心 市外貨物自動車 東州的漢江東省五灣地 東州的漢江東省五灣地 東州的漢江東省五灣地 東州的漢江東省五灣地

二五元五・〇〇

一錢も使はず

御用のガは 製所植を触りたし

が成立。 が成立。 対金性関連過方へ が成立。 対金性関連過方へ

が 内ァ ペート では 内 ア ペート が発症

▲奥様御自身の蒼物も…… ▲お子様の斎物も…… ▲お子様の済服も……… ▲お子様の済服も……… 東寺生手力と兼生 に、一家中が新調のやった着 となった古着を上手に作り直 に、一家中が新調のやった着 で、一家中が新調のやった着 で、一家中が新調のやった着 で、一家中が新聞のやった着

家 具、四務河份子直子對和 近城市有人特に安備城市上海 近城市有人特に安備城市上海 於城市。 京城城市町子員 東衛城市町子員 東衛城市市

特別拿攻

の感心な家持上手の奥様は 本町ホラル四十五號室 日 石 武武

主婦之友 六十銭!原料の主婦之友社の自る!早く、早く! 十二月號

大見得

大阪 淀 Щ 製 作 所 製

名譽の戦死者

を突き載つての題が、続ちに黄浦・
◆

「などかっての鬼が、がちに黄浦・
・ 一気に離除、進糶した
の魔には目も、れず、一気に離除、進糶した
・ もあり、残なども多い、けれど直とつとくくと歩いて行く、小部隊。それを改賛の卓知が飛消しながら、之て米の収極地だ、米も多く野菜 しのぐ元氣で青竹を放にしながら、絡がとれず、浮足たつてします。一松江、紫海、紫嶼の一般は地味的

ふかし芋で勇氣凛然たる兵士

上海にて後藤特派員

日中建攻を接げて、いざ宿香と

ショナ 1 t 1 术

阿时 → 六时ベルト掛入庫 秋 東西 行機 機部

後羅具の女主人から慰問金

T・メルソン氏は、かつて昭和

二ノ一尹正歴氏方を親ひコロムビ路署では引続さ五月廿三日清進町

スピー ・ できる ・ できる

看和我

1月十月七月七月七月十月十月十月十月十月十月十月十月十月十月十月十月

次 三回等外

田邊庫店

大田牛市場

……はりきる各商店や百貨店 戦時は戦時で《戦捷氣分

主婦之友」十二月號の大重審附録

版 物 線 观 線 集 場 線 場

でもない。 こくとも、誰方でも信息に、どんないを百種も投表! これさへ渡めば誰のきつと家持上手と賞められます!! うで皆様やく物質くださ、といるへ渡めば誰しる。 これさへ渡めば誰しる。 これさへ渡めば いっぱい この感

京畿道警察部が萬全の網を張り

迫る歳末に大警戒陣

接答係婦人數名 一十五歲ョリ三十歲マ 一十五歲ョリ三十歲マ 一十五歲ョリ三十歲マ 一十五歲ョリ三十歲マ 一十五歲ョリ三十歲マ 一十五歲ョリ三十歲マ 一十五歲ョリ三十歲マ 一十五歲ョリ三十歲マ

日九時二〇分(岐)知象通程日九時二〇分(岐)知象通程 同七時三分(束)圧破英治衛座 が蘇生の思ひをするのだ。その感』回六時五五分(東)カレントト 秦起信益」離話(四) 第一放送 商人時二〇分 新合制し-F級原民 同人時三〇分 新合制し-F級原民 同一時一五分 ※遅の時間 周八時IIO分(大)歌派物語 あすのきいもの 獨特語 人名和丈坊因本 段八、因上井 ẫ 8 局 解 說 「響」といるながありまするとこ だけに用ひられる言葉で、外の國一してある人達がある。その優のあ國民外交といふ言葉は恐らく日本一に繋があった。そこに行からと志 に之を見たいのは歐米齐翼人は自一る所への道案内に群しい窮師があ 法準器といふお窓の中に「化媒 お經の中から 高部道平 图图 岡田嘉子外 なの下事たちは何かとそれにつ 幅の廻嫌に舞ふことになり、鎌 倫保なく率納の舞ひをむと問入 中折帽子背廣服いつも横丁であふ小父さん **別板子曲つてく** ひげはやしてつえついて 黑澤貞子 ○更克有 機関等能 ○更克有 機関 - 名古風 - 尚水 - ○ 京城府南大門通二丁目 新春州 日枫南亚五日仁川八日 奥西 丸 てはならな 寒風お肌を荒す 安州 丸 元山市日 雄基十日安州 丸 元山市日 梅基十日 // 尼姆斯姆坦图 **哥哈斯斯尼斯出航** 沿岸郵船出帆 丸 十一月十六日 横渡、吳京區、海水。 案內所 华城 中井越 - シストレユーロー 金山商船組

朝鲜汽船出帆质告

CH有保尔用证的 CH有保尔用证的 CH有保尔用证的 CH同情识别 CHID海部

李海—— 大湖老、大山。李河, 線 每日往復 橋温斯生行出際電台

大連直行

阿波类同汽船作出机

| 株式合社 | 俊| 田| | 株式合社 | 俊| 田| | 株式合社 | 俊| 田| | (金元)

大阪商船株式會社仁川代理正

HECHIMA CREAM

東東舖本 店面製近★前角人科

酆

源

TIGO OF

196CE+K

. Dixi m

35セン・55セン・15セン

安斯大和格

九州郵船鉄田張所

| 飲み易い粉末|

兵 代東西野口 高會

當會

釜山监伽

九州郵船出啦贤告